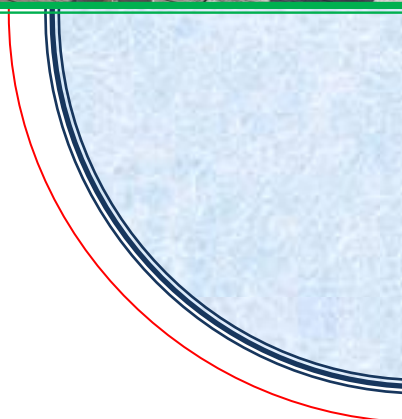
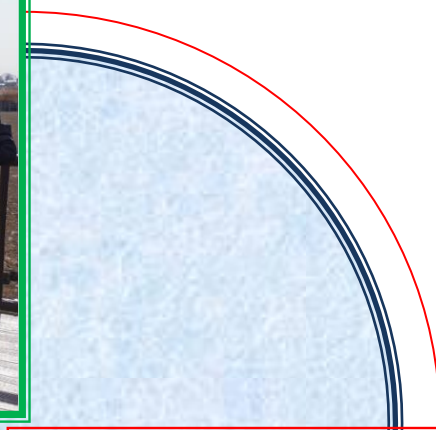


令和4年度 市民環境調査「野鳥観察会」報告書



川越市

観察会の概要

- 1. 目的** 身近な自然環境を調査し、環境に関する基礎データを収集するとともに、環境保全の大切さを学ぶ
- 2. 日時** 令和5年2月18日（土）9：00～12：00
- 3. 開催場所** 農業ふれあいセンター及び伊佐沼周辺
- 4. 講師** 福原 時夫 氏
埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部長
- 5. 参加者数** 10名
- 6. スケジュール** 9：00～ 9：10 挨拶、講師紹介、資料及びスケジュール確認
9：10～ 9：45 講義（スクリーン使用）
○鳥についての基礎知識
○バードウォッチングについて
10：00～11：10 野鳥観察
11：25～12：00 まとめ、質問、提出物記入 解散

7. 観察結果

（実際の観察時間 10：00～11：25）

	鳥の名称
複数人で確認できた鳥	① カワウ ② アオサギ ③ ダイサギ ④ コガモ ⑤ ヒドリガモ ⑥ カルガモ ⑦ マガモ ⑧ イカルチドリ ⑨ キジバト ⑩ ハクセキレイ ⑪ ツグミ ⑫ ヒヨドリ ⑬ スズメ ⑭ ムクドリ ⑮ アオジ ⑯ コサギ ⑰ ハシボソガラス ⑱ トビ ⑲ タシギ ⑳ ミコアイサ ㉑ ハシビロガモ ㉒ セイタカシギ
1名が確認できた鳥	カワラヒワ（調査結果からは除外）

当日の天候は晴れでした。

今回の観察の結果、22種類の野鳥を見ることができました。サギは、ダイサギ、アオサギ、コサギの3種が、カモは、コガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモの4種類が観察できました。

キジバト、ムクドリ、ハシボソガラスについては、主に沼の西側の農耕地や雑木林で確認できました。

伊佐沼北側は水が引き大きな水たまりのようになっており、カモが多く浮かんでいました。沼の中央部付近から南側にかけてはある程度水位もあり、魚を捕食するカワウや岸辺をゆったりと歩くセイタカシギを確認することができました。

今回観察できた鳥の種類は、前回の調査時（平成23年度）の12種類より約2倍の数となりました。

8. 講義・観察会の風景



9. アンケート結果

提出いただいたアンケート結果について、主なものを記載しました。

参加者 10名 (アンケート提出者 9名)

1. 今回の調査は何をご覧になって知りましたか？

市広報 8 友人の誘い 1

2. 参加しようと思われた動機について教えてください。

- ・楽しそうだったので
- ・孫に誘われて
- ・子供に色々経験させたいから
- ・久しぶりにバードウォッチングしたかったから
- ・鳥に興味があります
- ・散策もかねて
- ・生き物が好きだから
- ・四季折々の飛鳥に興味を深めたい

他

3. 普段、環境について心掛けていることまたは、これから心掛けようと思ったことを書いて下さい。

- ・花壇を極力無農薬にしている
- ・ごみの分別
- ・プラスチックごみが風に飛ばされないようにしている
- ・水を汚さないようにしたい
- ・将来に向けて環境を守っていきたい

他

4. 今回の調査に参加された感想をご自由に記入ください。

- ・気楽に鳥の説明を受けることができるボランティアの人が伊佐沼の周辺にいるといいなと思いました。
- ・とても有意義でした
- ・伊佐沼解説ボランティアの育成
- ・こんなにたくさんの鳥類が1つの沼に集まることがすごいと思った
- ・いろんな野鳥を間近に見れて楽しかったです。
- ・伊佐沼の自然に触れられ楽しい時を過ごすことができました
- ・自分で見つけられない鳥も望遠鏡で見せていただけて楽しかったです
- ・詳しい人と一緒だと鳥の名前が知れてよかったです
- ・知らない鳥が多くいました

他

ご協力、ありがとうございました。